

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【公開番号】特開 2014-128595 (P2014-128595A)
 【公開日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-037
 【出願番号】特願 2013-241559 (P2013-241559)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 25 日 (2014.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって

、

前記遊技機への電力供給が停止しても記憶内容を所定期間保持可能な記憶手段と、

操作に応じて操作信号を出力する初期化操作手段と、

電力供給が開始されたときに、前記初期化操作手段からの前記操作信号が入力されたことにもとづいて、前記記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化処理実行手段と、

エラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、

少なくとも、前記初期化処理実行手段によって前記初期化処理が実行されたこと、および前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたことを含む信号出力条件が成立したことにもとづいて、前記遊技機の外部にセキュリティ信号を出力するセキュリティ信号外部出力手段と、

前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたことにもとづいてエラー報知を実行するエラー報知実行手段とを備え、

前記エラー判定手段は、エラーとして、異常入賞の発生を判定可能であり、

前記セキュリティ信号外部出力手段は、前記初期化処理実行手段によって前記初期化処理が実行されたときと前記エラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたときとで、前記遊技機に設けられた共通の出力端子から前記セキュリティ信号を前記遊技機の外部に出力する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技媒体を検出する第 1 検出手段と、

遊技媒体を検出する第 2 検出手段とが設けられ、

エラー判定手段は、前記第 1 検出手段の検出結果と前記第 2 検出手段の検出結果とにもとづいて、エラーが発生しているか否かを判定可能である

請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、所定条件の成立にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献 1】特開 2006 - 334035 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、ホールコンピュータなどの外部装置に情報を出力するための機構の部品数の増加や配線作業の複雑化を防ぐことができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、所定条件の成立にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、遊技機への電力供給が停止しても記憶内容を所定期間保持可能な記憶手段と、操作に応じて操作信号を出力する初期化操作手段と、電力供給が開始されたときに、初期化操作手段からの操作信号が入力されたことにもとづいて、記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化処理実行手段と、エラーが発生しているか否かを判定するエラー判定手段と、少なくとも、初期化処理実行手段によって初期化処理が実行されたこと、およびエラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたことを含む信号出力条件が成立したことにもとづいて、遊技機の外部にセキュリティ信号を出力するセキュリティ信号外部出力手段と、エラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたことにもとづいてエラー報知を実行するエラー報知実行手段とを備え、

エラー判定手段は、エラーとして、異常入賞の発生を判定可能であり、セキュリティ信号外部出力手段は、初期化処理実行手段によって初期化処理が実行されたときとエラー判定手段によってエラーが発生していると判定されたときとで、遊技機に設けられた共通の出力端子からセキュリティ信号を遊技機の外部に出力することを特徴とする。そのような構成により、ホールコンピュータなどの外部装置に情報を出力するための機構の部品数の増加や配線作業の複雑化を防ぐことができる。

また、遊技媒体を検出する第1検出手段と、遊技媒体を検出する第2検出手段とが設けられ、エラー判定手段は、第1検出手段の検出結果と第2検出手段の検出結果とにもとづいて、エラーが発生しているか否かを判定可能であるように構成されていてもよい。